

H25年度 佐賀県学習状況調査・全国学力学習状況調査の分析結果と今後の対応について

桜岡小学校

4月に行われた全国学力学習状況調査（6年国語・6年算数）、佐賀県学習状況調査（5年国語・算数・社会・理科、6年理科・社会）の結果が分かりました。

6年国語B問題、6年理科は、県の平均を上回っています。
5年理科は、県の平均と同等です。
他の教科は、県の平均を下回っています。

正答率をみると、少しずつですが、昨年よりよくなっています。6年生は、昨年度の結果よりも県平均との差が少なくなり、正答率が上がっていました。

結果の個人票は、1学期の個人面談の際に配布しました。今後、どのような対応をしていくかについて考え、授業や特設タイムの指導を充実させるようにしていきます。また、夏期休業中に、職員研修を行い、学力の定着・向上のために具体的な対策を考え、2学期より日々の授業の改善につなげていくとともに、補充指導を行っていきます。ご家庭でも、結果をご覧になって、復習のお手伝いをしていただくと助かります。よろしく願いいたします。

～全国学力テスト、佐賀県学習状況調査の分析結果と今後の対応について～

	分析結果	今後の対応
5年国語	<ul style="list-style-type: none">○全体的に県平均を大きく下回っている。「書く」ことは、県平均を大きく下回っている。○示された資料から必要な情報を取り出し、提示された条件に合わせて作文することができていない。○説明文の問題で、段落構成を読み取ること、条件に合わせた文を作ることができていない。	<ul style="list-style-type: none">①作文の単元や「桜っ子タイム」において与えられた条件をふまえて作文するような課題に取り組みせる。②説明文の授業に力を入れ、読み取るために書く活動を取り入れるなど、読むことと書くことを関連させながら指導していく。
5年算数	<ul style="list-style-type: none">○全領域において県平均を下回っている。○基本的な技能や知識理解で、身に付いていない内容がある。「数と計算」では、小数のかけ算、同分母のひき算など基礎的な計算が県平均より下回っている。「数量関係」の問題でつまずきが見られる。○面積の単位換算や角度を図る問題ができていない。○問題文から必要な条件を取り出して、考えを式に表し、答えを求めることに課題がある。	<ul style="list-style-type: none">①基礎的な計算技能や知識理解の内容を定着させるために、音読計算やドリル学習の時間を確保する。②問題に対する自分の考えを、式や言葉、図を使って分かりやすく書く活動を取り入れていく。③「数量関係」の関数の考え方の基本となる表の見方や変わり方のきまりを見つける学習に力を入れる。

5 年 社 会	<p>○全体的に県平均を下回っている。思考・判断・表現をともなう問題は、大きく下回っている。</p> <p>○地域の暮らし、住みよいくらし、地域社会の歴史は、県平均を上回っているが、安全を守る、県の様子は下回っている。</p> <p>○「安全を守る」では、図や写真から人々の安全を守る工夫を読み取ることができていない。</p> <p>○「県の様子」では、佐賀平野の位置や県内の産物・行事・場所についての理解が不十分である。</p>	<p>①問題や資料を読み取る活動を増やし、自分の生活と関連させて考えさせる。</p> <p>②資料から読み取ったことを自分の言葉でまとめる活動を随時取り入れていく。</p> <p>③基本的な知識の習得と活用ができるように、プリント等を利用して定期的に学習の振り返りを行う。</p>
5 年 理 科	<p>○全体の正答率は、県平均と同等である。</p> <p>「思考・表現」「技能」は県平均を上回っているが、「知識・理解」は下回っている。</p> <p>○空気を押し縮めると手ごたえが大きくなること、金属の温まり方、電気のスイッチのしくみについての理解が不十分である。</p> <p>○方位磁針の使い方、天気によって気温の変化に違いがあること、空気中の水蒸気が水に変わることを説明する問題ができていない。</p>	<p>①実験観察して分かったことを習得させるために、プリント等を利用して復習させる。</p> <p>②実験観察から考えられることを自分の考えとして図や言葉で表現させる言語活動を取り入れる。</p> <p>③授業の中で自分の考えをもち、相手に説明する場(二人でタイム・みんなでタイム)を設定し、思考を深めさせる。</p>
6 年 国 語	<p>○A問題は県平均より下回っているが、B問題は県平均を上回っている。</p> <p>○漢字の書き取りの力が不十分である。</p> <p>○文章の内容を理解すること、設問を理解することが不十分である。</p> <p>○資料を読み取り、必要な情報を取捨選択し、決められた字数で文章を書くことに課題がある。</p>	<p>①漢字や言葉の力を定着させるためにスキル学習を繰り返し行う。</p> <p>②設問の意図を正しく読み取れるように「桜っ子タイム」等で多様な問題に取り組ませる。</p> <p>③グラフや表などを含む資料から必要な情報を取り出して読み取る学習を取り入れる。また、読み取ったことを基に指定された条件で考えを書く活動を取り入れる。</p>
6 年 算 数	<p>○A問題は県平均を少し下回っており、B問題は県平均を大きく下回っている。「考え方」を問われる問題においては、県平均を大きく下回っている。</p> <p>○概数にする方法、単位量あたりの式の説明、百分率を求める方法など、授業でつまづきやすい内容の習得ができていない。</p> <p>○資料から必要な条件を取り出し、必要な数、式、言葉を使って条件に合うように説明することができていない。</p>	<p>①知識理解で落ち込みがみられた内容について補充指導を行う。</p> <p>②技能や知識理解の内容を定着させるために定期的に基礎的内容の復習をし、プリント等で練習を行う。</p> <p>③計算の苦手な児童への補充指導を行う。</p> <p>④自分の考えを条件に沿って式や言葉を使って説明を書く活動を取り入れていく。</p>

<p>6 年 社 会</p>	<p>○全体的に県平均を下回っている。思考力・判断力・表現力を問われる問題は県平均を大きく下回っている。</p> <p>○米作りの作業，工業地帯の位置と名称，国土の範囲など，基本的な知識理解の問題ができていない。</p> <p>○資料から読み取ったことを言葉で説明することができていない。</p>	<p>①基礎的な知識を習得させるために，プリント等を利用して復習を行う。</p> <p>②資料から読み取れることや自分の知識・考えを書き出し，必要な用語を使って，社会的事象の理由や目的を文章で書き表す活動を取り入れる。</p> <p>③授業の中で理由を問う発問を取り入れて説明する活動を増やす。</p>
<p>6 年 理 科</p>	<p>○全体的に県平均を上回っている。どの観点も上回っているが「技能」は県平均と同等である。</p> <p>○理由を説明する記述式の問題は平均を上回っている。</p> <p>○並列つなぎを図で表す，インゲン豆の種の部位の役割，対物レンズの使い方の問題ができていない。</p> <p>○実験用具の使い方や装置の作り方を正しく覚えていない。</p>	<p>①実験観察して分かったことを知識として習得させるために，プリント等を利用して復習を行う。</p> <p>②実験観察から考えられることを自分の考えとして図や言葉で表現させる言語活動を取り入れる。</p> <p>③授業で自分の考えを説明する「二人でタイム」「みんなでタイム」を取り入れ，思考を深めさせる。</p>